

CVIT2024 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会①

① 今回の学会・研修の内容

他院での PCI における治療戦略や、トラブル時の対応、難しい症例への取り組み方などに加え、コメディカルセッションにおける IVUS や OCT のイメージングの読み方など数多くのセッションがあり、臨床工学技士の発表も数多く見られた。

② 今回の学会に参加した感想や印象に残った発表

今回の学会で非常に印象に残ったセッションは、近年では PCI においてステントを置かない、ステントレスが主流になりつつあるといった発表で、LMT(左冠動脈主管部)においても DCB(薬剤コーティングバルーン)を用いて治療を行うといったものであった。ステントを置いて治療した場合と、DCB を用いてステントを置かずに治療した場合での治療成績は大きく変わらないという研究結果もあるそうで、当院でも今後ステントレスになっていくのか注目していきたい。また、太い血管の血栓や、多量の血栓を吸引する際にガイドエクステンションを用いて血栓吸引を行う手技があるとのことでこちらも血栓を途中で落としてしまうなどの課題はあるようだが、非常に興味深い発表であった。非常に得るものが多くあった学会であった。

柏厚生総合病院 臨床工学科 倉重 航大 埼玉医科大学出身

